

中合 閉店へ



8月末での営業終了を決めた中合福島店—26日、福島市

県北唯一の百貨店

福島店8月31日まで

駅前再開発、契約満了

JR福島駅前にある老舗百貨店の中合福島店が8月31日で営業を終了し、閉店する。中合が26日発表した。

閉店後、中合は廃業する。従業員は正社員、パート・アルバイトを含め約1000人。イオングループや地元企業などでの雇用継続を目指す。閉店について「47年間にわたり地域の皆さまにご愛顧いただいたのですが、福島駅前の再開発計画による建物の賃貸借契約満了に伴い、営業終了を決めた」としている。

中合は1830(天保元)年に創業、1973年10月に現在の福島駅前に移転した。隣接していた山田百貨店(福島ビブレ)の移転・閉店後は、県北唯一の百貨店として地域に親しまれてきた。ことし4月、会津若松市の中合サテライトショップ会津店を7月31日で営業終了すると発表していた。

中合 経営の歩み

- 1830年 創業
- 93年 中村合名会社設立
- 1938年 百貨店業として発足、日本百貨店協会に加盟
- 73年 福島駅前に新築移転
- 98年 中合福島店を増床、2番館オープン
- 2017年 中合福島店2番館が営業終了
- 20年8月末 中合福島店営業終了予定